

しもつけ文化財探訪

第16回 さんのういせき 三王遺跡

今月の文化財探訪は、磯部から三王山（南河内地内）に所在する三王遺跡です。この遺跡は、弥生時代から古墳時代前期の集落で、これまで10軒の竪穴住居と弥生時代の畑の跡が見つかっています。

弥生時代の遺構は竪穴住居8軒と畑跡が見つかっています。竪穴住居の規模は、概ね1辺5m以内で、その形状は長方形を基本としています。このうちの1軒からは鉄剣が出土しています。一般的に住居内から鉄剣が出土することはほとんどなく、この村の首長的な人物の住居であったと推測することができます。畑跡は、幅15cm、深さ10cm、長さ10m程度の溝が2m間隔で掘り込まれており、これが畝の跡にあたります。

竪穴住居は畑の南に5軒、北に2軒存在しており、畑を中心として南と北のグループに分かれて集落が形成されていたことがわかります。また、距離はやや離れますが、5月号で紹介した集落の南約150mの存在する、三王山南塚2号墳の墳丘下で見つかった竪穴住居もこの村の一部にあたり、集落が台地上にいくつかのグループを形成しながら存在したことが想定できます。

古墳時代の竪穴住居は2軒が見つかりました。これらの住居からは、弥生時代の土器である弥生土器と古墳時代の土器である土師器が一緒に出土しており、弥生文化から古墳文化の過渡期にあたる住居であることがわかりました。

この後、集落の南に前述の三王山南塚2号墳が築造されており、弥生時代から古墳時代への移り変わりを知ることでできる数少ない遺跡として注目されています。



畑跡



竪穴住居



住居から出土した土器



住居から出土した土師器

問い合わせ先 文化課 ☎52-1120

次回は「下野国分尼寺跡」を探訪します。

馬形埴輪の愛称が決定しました

平成18年度に復元が完成した、甲塚古墳出土馬形埴輪1・2の愛称募集したところ、73通の応募がありました。厳正な審査の結果、愛称が次のとおり決定しました。

《馬形埴輪1（メス） こうちゃん》

こうちゃんには2名の方から応募がありましたが、抽選の結果、石橋の木下あかりさんに決定しました。

《馬形埴輪2（オス） 甲（かぶと）くん》

甲（かぶと）くんには4名の方から応募がありましたが、抽選の結果、薬師寺の本田麻弓さんに決定しました。

ご応募いただきました皆様ありがとうございました。



木下さんとこうちゃん



本田さんと甲くん

メリー グリムマス

イルミネーションコンテスト作品募集中

グリムの館では、12月2日から24日まで、イルミネーションでグリムの森を美しくライトアップします。これに先立ち、11月18日までみなさんからイルミネーション作品を募集します。みなさんでグリムの森を飾りましょう!! 詳細、応募要項はホームページかグリムの館までお問い合わせください。



問い合わせ先

(財)グリムの里いしばし ☎52-1180
(休館日：火曜日及び月末日)